

【プログラム名】モルタル造形彫刻技術と細やかな演出が光る庭づくり

【プログラムの目的】本校の環境デザイン科3年生14名(科目「課題研究」環境デザイン専攻)及び2年生34名が、HUSUP(ヒューサップ)株式会社とともに、モルタル造形を取り入れた外構施工と造園業を組み合わせた庭園づくりを通して、働くことの意義や職業観を学び、将来の進路選択の一助とする。

◆実施したプログラムの概要、今後の展開など

1 外部講師による講演会

職業感・勤労観を育むため、連携の最初の授業で、外部講師による講演の機会を設定し、職業観の育成のため、「働くこと」という題目で講義を行った。

2 モルタル造形の実際

(1)3年「課題研究」専攻生での取組(校内実習圃場でモルタル造形を取り入れた庭園を作製した)



特殊なモルタルを使用して、自然石やレンガを、質感や存在感をリアルに表現した。また、普段の授業で実施している造園計画や造園施工などの授業と連携しながら植栽計画や施工を行った。

(2)2年「造園計画」での取組(ウェルカムボードの作製)



2年生については、モルタルの特性等の理解やカービング・色付けの技術を習得するため、ウェルカムボードの作製を行った。

(3)アンケート調査結果(職業観や課題解決能力等の育成ができたか、振り返りを実施)

モルタル造形の授業を行う前と後の気持ちの変化について	実施前	実施後
卒業後すぐに農業関係の仕事に就きたい	1	2
将来的に農業関係の仕事に就きたい	3	14
農業関連の進学を考えている	1	6
農業関連の就職や進学は考えていない	40	25

造園(環境デザイン)や農業に関する仕事への興味・関心について	
高まった	34
高まらなかった	0
どちらとも言えない	12

- ・ものづくりへの興味・関心や、造園業に対する意識改革に結びつけることができた。
- ・普段の造園関係の授業でも意欲的に取り組む姿が見られた。

(4)今後の展開

- ・得られた知識や技術を、地域に還元する取組として、近隣住宅等へ、モルタル造形を取り入れた庭園施工の実施。
- ・幼稚園や保育園、小学校等への「モルタル造形体験授業」の実施。

◆HUSUP 株式会社コメント

私たちHUSUPIは、生徒に『一生稼ぎ続けられる人間』に育てて欲しいという気持ちで、生徒に接してきました。今回の授業がきっかけで、生徒の今後の人生がより豊かなものになれば幸いです。私たちもこの事業で成長することができました。

